



日本アロマコーディネーター協会  
チャイルドケア本部 MC会報誌

# Peeka Boo No. 16

ピーカーブー

2007年6月28日発行

## 資格という箱に 何を入れますか？

本講座においては、従来のチャイルドケア・コーディネーター、そして今春から、インストラクターが加わり、二本立ての資格制度が出来上がりました。身近な活動から、本格的なJAAチャイルドケアとしての普及活動という柱をもった活動が加わります。

開講した当初から、時代も流れ、子どもたちだけではなく、親の立場や環境の変化もあり、育児だけではなく、今や、「親学」「母学」「家庭教育」という育児する立場の「親」を学ぶニーズが増えてきました。

本講座では、当初より、そうした内容を取り入れてきましたが、まさに今、そのタイミングが来ているのです。本講座に興味を持っている皆さんは、すでにそうした状況を察して学ばれていることでしょう。そして、それらの状況に何か役立ちたいという思いで、ライセンスを取得し、普及される立場を目指されているのだと思います。資格取得された仲間が増えることは、大きな喜びであり、同じ活動を目指すものとして励まされます。しかし、同時に「どのように活動しているかわからない」という声が多くなりました。「何をしたいかわからない」

「自信がない」という声が多いのです。

育児は教えるものではありません。親としての誇りを持ち、自信を持ってわが子に愛情を注いでもらえれば、良いのです。この肝心の「自信」を伝えなければいけない人に自信がないのは、困ったものです。

私の経験から言えば、経験を重ねることです。何をしたいかわからない、自信がないという人は、とにかく経験が浅いのだと思います。良くも悪くも経験は必要です。知識を増やすことは誰でも同じようにできます。経験は、その人しかできないのです。

資格を取れば、すぐに教えられるわけ

ではなく、資格はいわばギフトボックス。その箱に何を入れるのか、何を渡したいのかを、それぞれが、さらに経験して入れていくものなのです。資格をとっても箱の中身が空であれば、伝えるものはないわけです。経験を入れた箱に、素敵な笑顔のリボンを添えて、身近な必要としている人に渡せば、それは素敵なチャイルドケアのプレゼントになるのです。私は、アロマセラピーという言葉も普及していないときから、チャイルドケアという言葉を作って、子どものための自然療法に取り組んできました。友人や近所の方に、自分の好きなことを知ってほしいというスタンスではじめました。講座が大きくなり、多くの方が学ばれるようになって、自分の好きなことを伝えるというスタンスは変わらないのです。ここにヒントがあるのではないのでしょうか。もっと楽しんでください。そうすることで、きっかけが生まれてきますから。

チャイルドケア講師  
松本 美佳





前号よりお知らせしておりますが、今秋のチャイルドケア・インストラクター試験の導入に伴い、試験の詳細をお知らせいたします。インストラクターは、本講座の指導者でもあり、地域に密着したリーダー的な役割を担っていただくこととなります。本部と連携することで、本講座の普及活動を強化するだけでなく、インストラクターとしての位置づけを確立させていくものです。ぜひ、本講座を担う一員となって、ご活躍いただけることを願っています。

チャイルドケア本部

ガイドブックより一部抜粋

## 取得資格名

「チャイルドケア・インストラクター（CCI）」  
チャイルドケア・インストラクターは、チャイルドケア・コーディネーター（以下、CCC）としての活動以外に、JAAが主催するチャイルドケア・スクーリングの講師を務めるなど中枢的な役割を担う資格となります。チャイルドケア本部と連携し、地元やチャイルドケアの受講生、CCCのリーダー的な役割を努めていただきます。

幅広い活動の呼称のCCCと一線を画し、本講座の直接的な指導者としての資格となります。

## ！重要なお知らせ！

チャイルドケア・インストラクター制度導入に伴い、チャイルドケア・インストラクターライセンスの取得者の権利として、「チャイルドケア・インストラクター」の呼称を認定します。従って取得者以外が、「チャイルドケア・インストラクター」と呼称して活動を行うことは認められません。最近、「チャイルドケア・インストラクター」と名乗って活動されている方も見受けられますが、お控えいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

## チャイルドケア・インストラクターの特典

JAA主催「チャイルドケア・ビギナーズスクーリング」の講師を務めることができます。

JAAチャイルドケア・ホームワーク講座の啓蒙活動ができ、新規受講者のご紹介をいただいた場合には、協会より紹介手数料をお支払いいたします。（詳細は、インストラクター合格者にお知らせします。）

## インストラクターによるスクーリング開催までの流れ

インストラクター試験に合格し、インストラクターとして活動される場合には、企画書の提出をしていただきます。企画書は、何通でもご提案していただけます。企画書が採用された場合には、本部との打ち合わせを重ね、スクーリング開催を実施していきます。その際に、本部と連携していくための事務的な諸費用として、講師登録料が必要となります。

企画申請（企画書は随時受付）

採用

スクーリング講師の登録

スクーリング講師登録料  
31,500円

ビギナーズスクーリングの開催（開催場所は自由）

## あらたなる チャイルドケア インストラクター制度を祝って



JAA常任理事  
浅井 隆彦先生

# 第1回

# チャイルドケア・インストラクター ライセンス認定試験 実施要綱

## 受験資格

- MC会員であること
- CCCの資格を取得した者
- チャイルドケア・スクーリングへ参加していること
- ガイドブックを購入し、内容をよく理解していること

## 面接試験日程

- 大阪 11月17日(土) 16:00~
- 東京 11月24日(土) 16:00~

## 受験料

21,000円 (認定料含む)



## 試験内容

筆記試験	本講座のテキスト及びガイドブックより、基本的な概要を理解し、その幅広い提案方法を習得されているかどうかが問われます。	<在宅受験> 事前提出締切日/ 各会場、面接試験の1ヶ月前
企画書の作成	チャイルドケア・ピギナスクーリングの開催に向けての企画書の提出。 サイズ/A4 スタイル/自由 企画書の内容によっては、すぐに実践の現場で活躍いただけます。	
面接試験	ご提案いただいた企画書について、または、これからのチャイルドケアについてのご自分の考えなどをお聞かせいただけます。	<会場受験> 試験官/松本美佳(JAAチャイルドケア講師)

## 受験手続きと受験の流れ

ガイドブック最終ページの「受験願書請求用紙」にご記入の上、FAXまたは郵送にて願書を請求します。

受験願書は、締切日に間に合うように手続きを行います。

JAAより、筆記試験の問題用紙と面接試験の詳細を郵送いたします。

筆記試験と企画書は、提出締切日(面接試験の1ヶ月前)までに返送します。

面接試験は、指定会場にお越しください。

	大阪	東京
受験願書 請求開始日	8月16日(木)~	8月27日(月)~
受験手続き 締切日	9月14日(金)	9月21日(金)
筆記試験問題 送付	10月5日(金)	10月12日(金)
筆記試験・企画書 締切日	10月19日(金)	10月26日(金)

## 合否発表

各会場とも面接試験日の約1ヶ月後。合格者には認定証及び、チャイルドケア・インストラクター規約を送付いたします。

JAAの組織にチャイルドケア講座の産声をあげてから7年が経過しました。

この講座が誕生して以来、松本先生は常に自主的で自由自在な講座を目指されていたのが印象的でありました。そして久しぶりに会報誌に目を通すと、今回のインストラクター制度発足に当たってもこの精神が今も健在であることになぜか胸をなでおろしました。チャイルドケアの講座は「学ぶ」だけでなく「伝える」講座でなければが持論で、つまり実践することこそ意味があるし、さらに自分で踏みしめた生の経験を反映する講座を伝えるメッセンジャーとしてインストラクターはわが道を歩んでほしいとい

う姿勢は終始一貫しています。

このような天衣無縫の松本先生らしい講座の発想は、「今度は主役があなた自身ですよ」と声をかけて大きく行動を起こしていこうという気遣いが目に浮びます。決してご自分のコピーを作らせようとしないコンセプトは、チャイルドケアが万人のものであり、固定した観念で進めるものではないことを意味しています。

しかし、チャイルドケアのマインドとハートは確実に次世代を担うインストラクターに脈々と伝わっていき、その精神的バックボーンはインストラクターを目指す仲間への大きな自信となっていくことでしょ

う。その自信は自ら歩んだ経験の積み重ねでしか得られないものだと言われていらっしゃると思います。

日本のよき時代のあの温かな心が通い合う社会や家族や家庭が育まれるのも、そう遠くないと今後は楽しみです。

学び終わってから伝える側に立って、経験という付加価値をギフトに詰めて幅広く多くの仲間へ素敵なプレゼントをしていくことが現在の閉塞感を打破していくきっかけになると確信しています。

今こそ羽ばたけ!

チャイルドケア・インストラクター!

## Schooling Report in

# Fukuoka

# Tokyo

# Sapporo



現在、春のスクーリングが各会場で開催されています。今回は、いち早く開催しました東京と福岡、そして、札幌会場が無事終了しました。今回のスキルアップの内容では、ガイドブックのことを含んだ、チャイルドケアプログラムについてのお話だけではなく、すでに活動されているCCCの方のお話や、これから、こういった現場に必要なのかと意見交換をしたり、春のイベント時で行われたカリキュラムの一部を皆で行ってみたりと、盛りだくさんの内容で、会場も盛り上がっています。

また、福岡会場では、CCCの方の自発的な呼びかけで、受講生同士の交流会が開かれ、札幌会場では、講師、スタッフを交えたランチ交流会が実現しました。追加会場に名古屋と仙台も加わりましたので、ぜひ、皆さんの参加をお待ちしております。

(名古屋、仙台の追加開催の詳細は、本誌15ページをごらんください。)



札幌グランドホテル内のランチ  
バイキングにて交流会。

## Tokyo -----

4/12(木) ビギナー編 参加

受講生 竹内 千恵子さん(長野)



受講生とは名ばかりの状況の中、思い切ってスクーリングに参加しました。松本先生のお話はパワフルで先生ご自身の体験も交えた大変魅力のあるもので、まず人としての基本を気付かされました。基本とは、「あいさつ」や「返

事」のことですが、子どもの親として当たり前のことを当たり前としてできることが、チャイルドケアに関わる第一歩と感じました。子どもを取り巻く環境においても、命を改めて考える時代ですが、チャイルドケアのコンセプトは、ふれあいやコミュニケーションが原点であること、これは人間として生きていくうえでも、なくてはならない大事な部分であると共感し、チャイルドケアの果たす役割の大きさを感じています。チャイルドケアでの学びを通して、日々の生活を振り返り自分を見直す良い機会として、また自分を磨くことで社会貢献できる日が来ることを楽しみに、今後一層前向きに取り組み、力をつけていきたいと思います。本当にスクーリングに参加していい刺激を受けました。ありがとうございました。

これから広がるチャイルドケアの現場について考えてみました

## Tokyo -----

4/12(木) ビギナー編・スキルアップ編 参加

CCC 山本 明子さん(東京)



講座を修了しライセンスをとったものの、スクーリングなどには顔を出さずじまいでこれではいけないと思い、この春は、スクーリングや親子イベントと立て続けに参加しました。

私は、二人目の出産でダウン症の子を授かり、何かできることはないかと始めたチャイルドケアですが、風邪をこじらせての長期入院や、授乳時間が一日14時間となかなか思うように予定の組めない毎日でした。やっとお座りができるようになり、成長はのんびり屋さんですが、いろいろなことに興味を持つようになってきました。ビギナー編では、松本先生のお話には大変勇気づけられ、育児に対する不安を期待と楽しみに変えることができました。お昼休憩の時間は、参加者の方と一緒に食事をとり、子どものことやケアの仕方などの話で盛り上がり、もっと早く参加していればよかったなと思いました。楽しみにしていたガイドブックは、内容盛り沢山です。スクーリング参加後ということもあって、読むと文字が生き生きとした言葉になって、頭の中に入ってきました。最近では家でも、長男と一緒にマッサージごっこをしています。7月には3人目の子が誕生するので、チャイルドケアをもっと深め、スクーリングにもまた参加できたらと今から楽しみです。



## Fukuoka -----

4/21(土) スキルアップ編 参加

CCC 高田 美和さん(熊本)

今回はインストラクター制度の導入をひかえ「チャイルドケアを広げる」というテーマで行われました。前半は松本先生のお話、後半ではグループに分かれ実際にどんな活動をしているか、または計画しているかを話し合いました。



いちばん印象に残ったのは、「チャイルドケアは“教える”のではなく“寄り添う”ケア」ということです。つい先日、私も初めてベビーマッサージの講座を自宅で、しかもお一人の方のために開いたのですが、それでも緊張・そんな時、松本先生の話思い出し、とても勇気をもらいました。

また早速、ガイドブックを購入しましたが、以前より「テキストの行間にある思いを読みとってね」とよく先生がおっしゃっていましたが、その思いを十分に文字にしてくださっていると感じました。さらに普及活動を行うにあたっての気をつける点や、具体的な提案の仕方などの情報が盛り沢山あり、今後の活動にぜひ役立てたいと思います。

CCC  
グループ活動  
in東京

託児ボランティア・グループ

# エプロンおばさん

グループリーダー CCC <sup>はまさき よしみ</sup> 浜崎 由美さん



現在、各会場でのスクーリングで、託児ボランティアの募集を行っております。東京では、毎回、この託児ボランティアを希望する方がいるおかげで、イベントの開催などもできるようになりました。CCCの浜崎さんもそんな積極的なおひとりです。

今春、CCCのグループ活動の改正に伴い、グループの一新を図ることになり、新規グループの募集を現在受け付けています。そこで、今回、東京での託児ボランティアの充実を図るべくして、CCCの浜崎さんが発起人となり、「託児ボランティアグループ・エプロンおばさん」を結成されましたので、ご紹介します。

ぜひ、他の会場でも、託児ボランティアやイベントサポートボランティアとして、ご協力願える方は、本部までご連絡ください。イベントや託児つきスクーリングの開催が可能になります。



## 1 託児ボランティアグループを作ろうと思ったきっかけは何ですか？

実際にボランティアとして数回、経験して、私でも何かできると思ったので、私なりに、頑張るママ達のお手伝いをしようと思いました。そこで、完全に親と離れて、託児として行うというよりも、一緒に会場に来て、ママはお勉強、子どもはママの目の届くところで「世話焼きおばさん」と遊んで待っているようなことが実現できるなら、私でもできると思ったんです。実際東京会場は、そんなスペースで行っていたので、経験して可能だと思ったんです。

## 2 メンバーはどのように集めたのですか？また、現在のメンバー数は？

現在、名乗りをあげてくれているメンバーは6名です。同じアロマのスクールで知り合い、チャイルドケアも同時期に勉強しています。皆さんに、「近所の世話焼きオバサン」のような託児ボランティアをグループとして立ち上げないかと相談したところ、喜んで参加してくれました。

## 3 グループ名のネーミングの由来は？

最初は、可愛いネーミング（動物や植物の名前など）も考えたのですが、格好つけるよりも、身近な親しみやすい印象が良いと思いました。「おばさん」という言葉の響きは、メンバー全員の年齢にマッチしている（笑）こともありましたけど、良い意味での「おばさん」を出していこうよ。というエールでもあるので、このように決めました。

## 4 実際に何度か経験されていますが、何か気づいた点やよかった悪かった点などありますか？

預かる方も、預ける方もはじめてお会いすることが多いので、遠慮がちになってしまいます。同じチャイルドケアを学ぶ仲間同士であるので、スクーリング時やそれ以外にも、もっとコミュニケーションが取れる場や時間があると、託児などにも協力的になって、円滑にできると思いました。

## 5 グループのポリシーや、ルールなどはありますか？

基本的には「無理をしない。」ということで進めようと考えています。できる人は、がんばってほしいし、できない人は、無理をしない。なんとか振り分けて東京会場は、いつも託児つきができるように、協力しながら励みたいと思っています。

## 6 今後の活動として、どのようなことを考えていますか？

東京会場での託児ボランティアとして、協力していきたいと思っています。皆さんに経験させていただきながら、託児の腕もあげていきたいです。また、今後は、託児ボランティアとしてだけでなく、仲間としても、勉強会や交流会などを開いて、いろいろ向上できるようにしたいと思っています。

## 7 チャイルドケアを学び、ライセンスを取られて、浜崎さん自身の活動や今後の抱負などありますか？

「ライセンスを取ったから、OK」じゃなくて、ライセン

スという「鍵」をいただいた感じです。この「鍵」を使っていろいろな扉を開けるためには、知識だけでなく、経験を重ねることの大切さも感じます。自分のために始めた「チャイルドケア」が家族に、子どもに、地域の方への施術ボランティアをするようになったりと、活動の幅が広がりました。気負わず、マイペースでこれからも、チャイルドケアを続けていきたいです。

## 8 グループメンバー募集の方法について

グループとしては、「託児ボランティア」の活動がメインになるので、CCCを取得された方で継続してボランティアができる方は、ぜひご連絡ください。一緒に盛り上げていきましょう。

### CCCグループとは

ライセンスを取得された方同士が、活動や趣味を目的にグループとなって、活動していく、マザーズクラブの活動のひとつです。グループを作る場合には、本部に連絡の上、所定の申請書でお申し込みください。

なお、受講中の方のグループ活動、ボランティア活動の受付は、基本的にやっておりません。CCCとしての活動としてお考えください。尚、詳細は、CCC会報誌でお知らせしております。



### 託児ボランティア募集

チャイルドケア・スクーリングの各会場において、今後もCCCによる託児ボランティアを受け付けています。この託児スペースは、1人でも多くの方のスクーリング参加をサポートするものであり、ボランティア者と託児希望者の双方の希望によって、初めて託児スペースを設けることができます。

託児ボランティアの目的  
様々な年齢のお子様との触れ合いを通じて、違う角度からチャイルドケアを学びます。

託児ボランティアの条件  
過去のチャイルドケア・スクーリングに1回以上参加したことのあるCCC（子育ての有無は関係ありません。）  
ボランティア1名に対して、お子様3名までの託児が目安です。

託児ボランティア募集期間  
スクーリング開催日2週間前までにチャイル

ドケア本部まで、お電話にてお申し込みください。  
Tel / 03-5413-1260

< 託児希望の方へ >  
ボランティアの希望者が無い場合  
従来通りお子様同伴（隣席での受講）のスクーリング参加は可能です。  
託児を希望される方が多い場合  
ボランティア希望の人数に応じ、託児が必要な年齢の若いお子様がいる方から優先とさせていただきます。



春休み 親子イベント 第2弾！

歌おう！触れ合おう！

チャイルドケア



去る3月29日に、東京では、2回目となる親子イベントが開催されました。午前に0歳児、午後は3歳以下のお子さんが対象です。内容は、昨夏、好評を得た企画とほぼ同一で行いました。ボランティアの皆さんに協力いただきながら、今回も大好評のすえに

無事終了しました。引き続き、今夏は、小学生を対象にしたイベントを開催します。イベントは、親子で楽しんで学んでいただくことが基本。夏休みの思い出にぜひ、ご参加ください。（詳細は、15ページ）



今回も手作りのお花に、アロマの香りをつけて、お花のプレスレットをしながらマッサージを行いました。マッサージも、前回同様に、童謡にあわせたものです。

今回の童謡は、季節的な「春よこい」や「春の小川」

のアレンジ。また、お母さん同士のハンドマッサージとして「ちょうちょ」も取り入れました。前回同様に、とても好評で、童謡＆ベビー＆チャイルドマッサージは、チャイルドケアの十八番になりそうです。

#### < アンケートの声 >

子どもの知っているお歌に合わせて、全身をリラックスさせてあげるマッサージを教えていただき、毎日のケアに役立てられると思いました。

普段パンツ1枚で親子のふれあいも少ないせい、同月齢のお友達と一緒に遊んだり、マッサージする空間が楽しかったようです。

子どもの意外な一面も発見できました。ボランティアさんの育児アドバイスもとても役立ちました。

歌を歌うことで呼吸がゆっくりとなり、自分自身の力が抜けていくような気がしました。





## 参加者の声

### 午前参加

受講生 福田 栄さん とものり君：1才



親子イベントの日の息子は、途中、眠くなってしまい、ほとんどマッサージができなかったのですが、懐かしいお歌をいくつも教えていただき、2人で歌いながら家に帰りました。

イベント後、息子も1才になり、あんよも上手になりました。以前は、毎日のようにお風呂上がり

りに全身マッサージをしていましたが、4月より保育園に通うようになってからは、家では大暴れで、入浴後もマッサージどころではありませんでした。なかなかマッサージをする時間を作れずにいたのですが、夜泣きの際に、「ひとりふーたりさんにんきました……」と歌ったところ、泣き止んだので、歌にあわせて、手をマッサージしてみました。オイルを塗っていないのですべりは悪かったのですが、息子はスッと眠りにつきました。手と手を触れることで「ケア」になっていることを改めて感じました。それからは夜泣きの際には、「ちょうちょ～」「お馬の親子は～」と歌いながら、両手で息子の体に触れています。息子の意識に残っているかは謎ですが、何もしないときよりも、ずっと早く眠りについているように思います。今は「マッサージの時間」をつくる余裕がないので、私流の夜泣きケアを通じて、タッチケアを続けていきたいと思えます。特に低月齢の場合、歌に合わせたほうが、楽しくマッサージできると思うので、親子イベントで教えていただいた歌は、とても役に立っています。貴重な経験と楽しい時間をありがとうございました。



### 午後参加

CCC 萩野 智美さん なつき君：2才

初めての参加でしたが、とても楽しい時間を親子で過ごすことが、できました。家庭でのケア、そして、自分自身のベビー・チャイルドマッサージ（触れあい）のイメージも広がり、よい勉強となりました。

後日、イベントの写真を見ていると、子どもが、「あー、ともだち、いっぱいー」「あー、なっちゃんだ。ママもいるね」「まんなかの、赤い服は、せんせ。いっしょに、歌ったもんねー」「また、いこうね」と、楽しそうにおしゃべりしてくれました。

子どもは第一子で、私は新米ママです。「親が変われば、子も変わる」という言葉に、何か心を動かされ、未熟な母親から強い母親でありたいとチャイルドケアをはじめました。

今回、親子イベントに参加し、1週間くらいは親子で歌いながらマッサージを楽しみましたが、毎日の生活で精一杯でだんだんなくなるんですよね。無理なく続けるためにも、まずは、お友達に声をかけて、始めるのもいいかもしれませんね。

最近、新聞などで「親学」という言葉をしばしば耳にします。このチャイルドケア講座では、早くから「親学」を含めた「ケア」に取り組まれています。皆さんにも、私にも、このチャイルドケアが、よりよいものとなりますように！



# 姉妹でチャイルドケアを受講しました！

5月に、チャイルドケア・コーディネーターを取得した、野坂さんご姉妹をご紹介します。お二人は、義理のご姉妹同士であり、実習レポートも共有しながら、チャイルドケアを学び、実践され、資格取得されました。チャイルドケアを通して、さらに家族の絆を実感されたようです。それらの様子やこれからの活動についてお話をいただきました。



CCC 野坂 里絵さん(義姉)

ヘルパー1級を取得し、介護施設・大手フランチャイズのリラクゼーションサロンに勤めた後、理想のサロン作りのため独立。  
リラクゼーションサロン おたるもみほぐしや はくはぐ  
北海道小樽市稲穂6-25-6  
<http://web1.nazca.co.jp/hughug/>



CCC 野坂 満智子さん(義妹)

元幼稚園教諭。現在、10歳(長男)と5歳(長女)の2児の母。

## お二人で一緒に受講を始めたきっかけは？

満智子さん 私は幼稚園在職中に、自然素材を生活の中に取り入れる楽しさや素晴らしさにめぐり合う機会があり「メディアに振り回されない、自分自身の子育て」についてお母さんたちに伝えたいと思っていました。

里絵さん 私が営むサロンは、小樽の中心街の外れにありますが、興味本位というよりも癒しを求めて来られる子育てをされている方が多いので、少しでも育児中のお母さんたちのお手伝いが何かできればと、いつも義妹と話し合っていました。

その頃ちょうどアロマコーディネーターの勉強もしていたことから、チャイルドケアの講座もあることを知りました。「1人でやるより2人でやったほうが楽しいよね」という発想からです。

満智子さん 私も、チャイルドケアという言葉と内容に惹かれ一緒に受講することになりました。

## 受講レポートはどのように進めましたか？

満智子さん 私の子どもでそれぞれ実習し、日々の生活に密着するウチ日記などのレポートは私が担当しました。1つ1つの実践が楽しく、また子どもと触れ合うことの大切さを実感できました。

里絵さん 私はほぼ毎日、妹の家と一緒に夕飯を



リラクゼーションサロン



左側：里絵さん 右側：満智子さん

とり、夕飯後は子どもたちの協力のもとマッサージを実践しました。サボっているとすぐに子どもたちに「今日はいいの？マッサージの練習？」と指摘されながらも楽しく行うことができました。

## チャイルドケアの 素晴らしさとは？

満智子さん チャイルドマッサージなどのスキンケアでは、子どもの体だけではなく心の状態を具体的に把握することができました。息子は小さいときから集団の中にいると緊張しがちなタイプで、そのせいか体も柔軟性がなかったのですが、背中を重点的に継続して軽擦することで、気持ちのゆとりや体のやわらかさといったものが少しずつ出てくるようになりました。

はじめは「マッサージなんて……。」と恥ずかしがっていましたが、「お母さんの勉強のために、ちょっと協力してほしいな。」とお願いし、続けているうちに心地よさを感じてくれるようになりました。今では朝気分がすぐれないときに、「お母さん、ちょっとマッサージして。」なんて言うこともあります。自分で気持ちの切り替えをする手段の1つとして“お母さんマッサージ”があるようです。

娘は、誰かにマッサージをしてあげること「気持ちいい」「うれしい」と言われることを喜んでいます。家族はもちろんのこと、保育所の先生や近所の大工さんにまで、手や肩を揉んであげています。夢は義姉の跡を継ぎ“マッサージ屋さんになること”だそうです。

家族の中で育ってきたものが、こうして自然に自

分や周囲の人々が優しい気持ちになれる体験を与えてくれたチャイルドケアの学びは、かけがえのないものであると気づかせてくれました。これから、また多くの人にこの喜びや感動を伝えていきたいと思っています。

## 現在の活動と これからの展開は？

里絵さん 知人からお話しをいただき、おもちゃ屋さんの一角を借りて、親子で楽しめるクラフト作りや簡単なケアを紹介する催し物をしています。ゲームなどのおもちゃに頼らない遊び方は、親子同士の触れ合いができるもっとも簡単なコミュニケーションであると思います。お越しになられた方々の楽しんでいらっしゃる笑顔を見て、もっともっとたくさんのお母さんたちに伝えたいという気持ちにさせてくれます。

今後は、地域に密着した活動をめざし、幼稚園や保育園・小学校のお母さんの集まりなど、町内会の方にも声をかけ、ケアについてお伝えする機会をもちながら、自分たちの学習もよりいっそう深めていきたいと思っています。



満智子さんのお子さん  
長男：げんたくん  
長女：ゆいちゃん



## 私のチャイルドケア

受講生 小野 真代さん

北海道在住。保育科を卒業後、学童保育の現場の経験あり。愛犬パウダーにチャイルドケアを実践する。



私は独身で結婚の経験もなく、もちろん出産の経験もありません。親戚の子どもも友人の子どもも近くにはいないので、正直、実習レポ

ートをどのように進めたいのか分かりませんでした。

半ば諦めていたとき、同じ受講中の方の勧めで、チャイルドケア・スクーリングに参加してみました。私の住んでいるところから札幌へ出るのは1日かかりですが、松本先生は、チャイルドケアへの誠意と情熱を余すことなく伝えてくださいました。そこで、私は自分を見つめ、私にとっての“子ども”を考えるようになり、100冊の本を読むより意味のあることを実際に体験しました。

私にとっての子どもとは、今年3才になる犬の女の子です。彼女は幼いとき、人間から虐待され、心に大きな傷を持ってわが家へ来ました。そこで私は、この子の心のケアをチャイルドケアの真意と考え、講座を進めていくことにしました。

わが家へ来た当初は、人におびえ、部屋の隅でじっとしている子でした。マッサージをしても逃げ出してしまい、なかなか心を開いてくれませんでした。しかしあきらめず接していると、徐々にマッサージをしても嫌がることなく、今では、「マッサージして！」と言わんばかりにお腹をみせてくれるようになりました。たいていお腹をマッサージするとすぐにウ

ンチができるので、犬でもちゃんと要求して反応することがわかりました。

こうして、できる範囲で課題を進めているうちに、だんだんとその子が直面したことが見えてきました。留守中に何があったか？など今日の心境をキャッチできるようになり、物質的なタッチングから心の対話へと発展していきました。

私ที่บ้านに帰ると、元気な子どもが飛びついて歓迎してくれます。当たり前のように、以前からは予想もできないことで、その表情を見るだけで私自身癒され、彼女との距離が近くなったのを実感しています。

チャイルドケアは、単純に課題をこなすのではなく、課題に向き合うことだと感じました。その上でどう対処すべきかを考えるのがケアの第一歩で、それはアロマの枠に捕らわれないものだと思っています。私はチャイルドケアを通して家族の和という大きな財産を得ることができました。そして、大切な子どもとの絆を築くことができた自信を胸に、テキストのメッセージにもなっている「私たちは地球の子ども」でもあることを同時に愛おしく思い、生きていきたいと思えます。



# 夢はアクティブなインストラクター

CCC 高西 公美子さん

長男7歳と次男5歳の母親。転勤族で現在は、大阪岸和田市在住。各地域での人との出会いの中で「今自分ができること」をモットーにアロマライフを楽しむ。



チャイルドケア講座の受講中に、子どもたちに元気でいてほしいという思いから、元気であるには免疫力を高めることがいちばん！免疫力を高めるということは、ストレスをためないこと。ストレスを吹き飛ばすには笑うがいちばん！と単純に考え、毎晩子どもたちに「くすぐり大作戦」と名づけ、お風呂上りの裸の子どもたちに「くすぐっちゃうぞ〜」とお腹の底から声を出して笑わせていました。子どもたちは大喜び。私もなんだか楽しい気分になります。

転勤族のわが家はその頃、東北に住み、子どもたちを徒歩で幼稚園に通わせていました。冬は積雪量の多さと氷点下の世界で、普通に歩くのは大人でもかなり困難ですが、気がつけば二人とも幼稚園で皆勤賞をとっていました。歩くことは全身運動につながり、歩くことによって季節の変化を肌で感じ、会話し、常に手を握りしめて歩いていたことが、同時に親子のコミュニケーションも自然に育まれていたのだと後になり気づきました。今でも二人ともよく歩きます。

最近、運動不足や体力不足の子どもたちが年々増えていると耳にします。そして、それはお母さんたち自身にも言えることで、日々の運動不足を訴えています。ちょっとした移動にも車を利用し、いつのまにか「歩く」ということが特別なことになっているのだと気づきました。「遠足、最後まで歩けるのかな？」「小学生になったらちゃんと歩いて通学できるのだろうか？」こういった親の心配もよく口に出し、座り込んでいる子どももよく見かけます。

私は、そういったお母さん友達の会話をきっかけに、また自分自身の経験を振り返り、特別なことを

するのではなく生活の中でできる健康とはどういうことを考え、親子の心身の健康的な体作りを導

くことのできるインストラクターになりたいと思うようになりました。

基本は体を動かすこと、高いお金を払って運動を習わなくてもできることを無理なくやってみたいと考えています。例えば、その場で足踏みやスキップ、時にはかけっこをして手足をしっかり使います。音楽に合わせてのリズム体操は躍動感や音感を養い身につけ、親子でのストレッチでは触れ合いや五感をフルに使うことができます。あるいは、子どもたち自身が考えた遊び方、例えば、ひとつの紐からどんな遊びができるか？など発想することの楽しさや、何もなかったところから考えることの大切を伝えていきたいと思っています。脳や体を十分に動かして汗を流しながら出る「疲れた」は、体力がない時に言う「疲れた」とは全く違い、とてもいい笑顔をしているものです。

親子で笑いながら楽しんで健康になれるのはとても素敵なことだと思います。親も子も元気で動ける体を手に入れること、それが健康への第一歩じゃないかと考えています。健康を願わない人はいないでしょう。元気な親子が増えることを願い、その手助けのために、アクティブなチャイルドケア・インストラクターになることが私の夢です。チャイルドケアのインストラクター制度の導入は、これからの励みのひとつになりそうです。

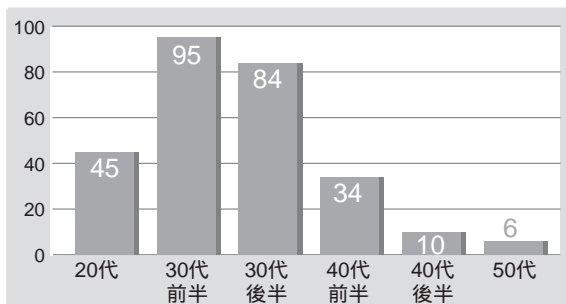
# アンケート 結果報告

前号では、アンケートのご協力いただきありがとうございました。今後のチャイルドケアの企画やスクーリングやイベント開催などの参考にさせていただきます。

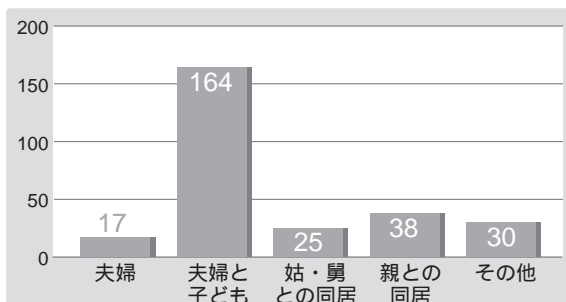
受講生の皆さんの内訳をみると、30代お母さんが圧倒的に多く、また家族構成も核家族が中心であることがよくわかりました。またお子さんもチャイルドケアでの対象年齢である0歳～小学校低学年に集中しています。今後、広がるチャイルドケアプログラムでは、お子さんの成長に合わせて継続した学びをご提案していく予定です。見守るケア、思春期のケアの必要性を実感されると思います。ご要望やご意見などいただきながら、今後のカリキュラムを検討していきますので、お気軽にお声をお聞かせください。

今回のアンケート結果より、本部では、スクーリング開催地域を上位2ヶ所である名古屋、仙台を急遽、追加会場として設けました。スクーリングに参加できる方が受講者の4分の1という状況ですが、参加された方の希望回数の回答では、年2回の次に、年4回以上と多くの回数を希望されています。スクーリングの内容の充実度がお分かりいただけたと思います。託児なども今後検討し、参加しやすい状況を検討していきますので、よろしくお願ひします。

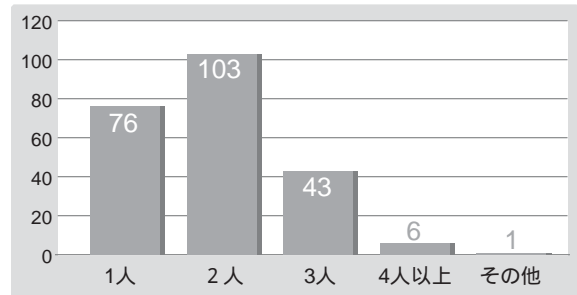
## 年齢



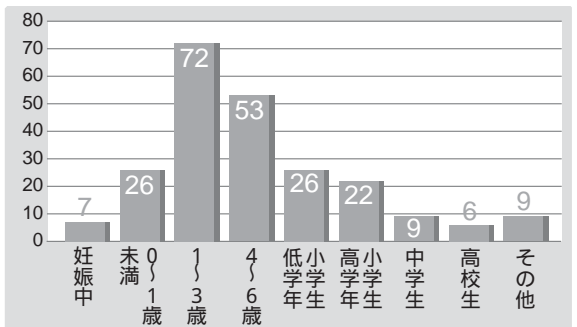
## 家族構成



## お子様の人数



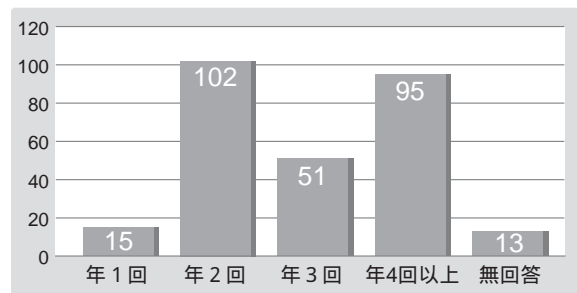
## お子様の年齢



## スクーリング参加の有無



## スクーリング希望年間回数



## 居住地

北海道	14	東京都	28	滋賀県	3	香川県	2
青森県	3	神奈川県	17	京都府	5	愛媛県	2
岩手県	6	新潟県	7	大阪府	17	高知県	1
宮城県	3	富山県	4	兵庫県	15	福岡県	14
秋田県	1	石川県	1	奈良県	3	佐賀県	1
山形県	3	福井県	2	和歌山県	0	長崎県	2
福島県	3	長野県	4	鳥取県	3	熊本県	6
茨城県	5	山梨県	1	島根県	3	大分県	3
栃木県	4	岐阜県	5	岡山県	2	宮崎県	0
群馬県	3	静岡県	9	広島県	5	鹿児島県	3
埼玉県	12	愛知県	22	山口県	5	沖縄県	6
千葉県	9	三重県	4	徳島県	3		

# INFORMATION

## チャイルドケア・スクーリング追加会場決定！

前号のアンケート集計で、特に希望が多かった名古屋と仙台で、スクーリングを追加開催いたします。ピギナー編は、同様ですが、スキルアップ編は、今までの内容をアレンジしますので、盛りだくさんの内容になります。ガイドブックの使い方などについてもお話しますので、ぜひ、この機会にご参加ください。

今回、東北地方では、初めての開催となります。今後もご希望が多い地域に対して、その都度開催を検討し、実施に向けて取り組んでいきます。皆様のご希望をお寄せください。

名古屋、仙台ではお昼休みを利用して交流会を検討しています。参加したいという方は希望をお知らせください。



日程 名古屋 8月4日(土) / 仙台 8月19日(日)

【ピギナー編】 10:00~12:00

費用 MC会員 / 3,000円 正会員 / 4,000円 一般 / 5,000円

参加資格

受講生以外の一般の方の受講も可能です。お友達をお誘いのうえ、ぜひご参加ください。

【スキルアップ編】 14:00~16:00

費用 MC会員 / 3,000円

参加資格

- ・ピギナー編スクーリングに1回以上参加された方(同日含む)
- ・チャイルドケア受講生はライセンス取得を目指す方

4~9歳までの親子対象のイベント IN TOKYO

## 親子で楽しもう 夏休み親子イベント 第3弾

今年も、東京会場では、夏休みイベントを開催します。今回は、今までの3歳までのお子さんが対象ではなく、それ以上の年齢のお子さんを対象にしました。4歳~9歳までのお子さんを対象にしたイベントです。従来のスクーリングとは違い、親子で楽しめるイベントとして、ご提案していきます。また、同伴による高学年のお兄ちゃん、お姉ちゃんによるお手伝いも受け付けます。

日程 8月30日(木)

10:30~12:00 お子さまの対象年齢 4~6歳まで 定員15組

13:30~15:00 お子さまの対象年齢 7~9歳まで 定員15組

場所 東京 カルチャーキューブ渋谷校

費用(材料費込み) MC会員 / 4,000円

参加定員に限りがございますので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。内容は当日のお楽しみです。お子様が2名以上になる場合はご相談ください。

<ボランティアスタッフ大募集!>

イベントをサポートし、盛り上げていくためのボランティアスタッフを募集します。育児経験のない方でも問題ありません。7月10日までにご連絡ください。なお、現在東京での開催が続いておりますが、他地域でのイベント開催は、ボランティアの申し出がない場合には、残念ながら開催できません。CCCグループでのボランティア参加のお申し出があれば、今後開催を検討していく予定です。皆さんで作りに上げるイベントにしていきたいと思います。

もうひとつのチャイルドケア

## チャイルドケア的 アートセラピーのワークショップ開催

チャイルドケア講師の松本美佳による、通信講座では、ご提案していない、もうひとつの「チャイルドケア」のワークショップを開催します。本講座は、松本美佳がご提案している「チャイルドケア」を通信講座としてカリキュラムを組みなおし提案しております。しかし、本来の「チャイルドケア」には、感性を育成させるためのアートセラピー的な要素が、導入されております。

通信講座では、このテーマを一般的に広げることが難しいので、内容には含めることができませんでした。松本美佳のご提案するチャイルドケアには、大人の中の子どもを楽しむということも大きなテーマになっています。今回は、JAA主催として、ワークショップを開催することにしました。

ぜひ、楽しいひとときを一緒に過ごしてみませんか?

絵の得意不得意は一切問いません。「楽しい」「気持ちよい」を感じることがアートセラピーです。

学問的なアートセラピーとは異なりますので、ご了承ください。

日程 10月8日(祝) 時間

場所 東京 カルチャーキューブ渋谷校

定員 20名限定

費用(材料費込み) MC会員 / 4,000円

正会員 / 4,500円 一般 / 5,000円

持ち物 平筆 15号程度のもの 幅2.5cm以上 新聞紙

その他詳細はお申し込み後お知らせします

申し込み窓口 日本アロマコーディネーター協会 TEL / 03-5413-1260

# \* 秋 のスクーリング \* 案内

## 秋のチャイルドケア・スクーリングの日程が決定しました！

今期のスキルアップ編は、ガイドブックができましたので、その内容をあらかじめご理解いただいた上でのスクーリングになります。演習を増やし、多くの方の意見交換ができる場になるよう検討中です。チャイルドケア向上のために、ぜひご参加ください。

また、このピギナー編は、今後インストラクターの方による開催となっていく予定です。松本先生による、ピギナー編の開催は、今後限定されますので、受講されていない方は、ぜひ、ご参加ください。東京会場では、ボランティアによる託児受講が可能になりました。他会場では、子ども同伴受講も検討しますので、ご相談ください。

東京 9月13日(木) 11月24日(土)(両日託児可)  
 福岡 10月20日(土)  
 札幌 10月27日(土)  
 大阪 11月17日(土)

参加者が15名以下の場合は、開催を見送るケースもあります。

### ピギナー編 10:00~12:00

ピギナー編は、一般受講も可能です。お友達をお誘いのうえ、ぜひご参加ください。チャイルドケアの基本的な概要と受講に関するポイントの講義になります。講座の受講に迷っている方、あるいは、受講中で、課題が滞っている方は、この機会に積極的にご参加ください。

費用 MC会員/3,000円 正会員/4,000円 一般/5,000円

### スキルアップ編 13:30~15:30

今期より、スキルアップ編では、ガイドブック(6,300円)が必須となります。ガイドブックの演習に取り組んだり、意見交換をしていく予定です。ガイドブックは、会場でもお求めが可能です。あらかじめご予約ください。

費用 MC会員/3,000円

#### 参加資格

- ・ピギナー編スクーリングに1回以上参加された方(同日含む)
- ・チャイルドケア受講生はライセンス取得を目指す方

申し込み窓口 日本アロマコーディネーター協会  
 TEL/03-5413-1260

#### 振込先

三菱東京UFJ銀行 池袋東口支店 普通 1920305  
 日本アロマコーディネーター協会  
 郵便振替口座 00170-4-122869  
 日本アロマコーディネーター協会

## マザーズクラブ(以下、MC)会員制度について

MCは、受講と同時に自動登録され(受講期間中のMC年会費は免除) 会報誌「ピーカーブー」の講読、チャイルドケア・スクーリングへの参加優遇、会員同士の交流など様々な特典を受けることができます。また受講期間終了時に、MC会員の更新を行うことで引き続きMC会員としての特典を受けることができます。

現在受講中で下記の受講番号に該当する方は、7月上旬にMC会員更新の書類を郵送いたします。

AC05-5 / AC05-6 / AC05-7 / AC05-8 / AG05-5 / AG05-6 /  
 AG05-7 / AG05-8 / AL05-5 / AL05-6 / AL05-7 / AL05-8 /  
 C006-5 / C006-6 / C006-7 / C006-8

### 【訂正とお詫び】

ピーカーブーNo.15 P.12にて紹介いたしました中川千賀さんは、受講生ではなくCCCの間違いでした。この誌面にて訂正お詫び申し上げます。現在、中川さんはCCCとして地域の普及にもお力をいれて、活動されています。

## 合格おめでとうございます

今回76名の方が新たに  
 チャイルドケアライセンスを取得されました！  
 皆さまの更なるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

橋本 充恵 / 橋爪 ゆき / 北河 桂子 / 井上 貴保子 / 横澤 加代子 / 菅原 ゆう子 / 永富 光 / 日高 礼子 / 小峰 裕子 / 栗原 桂子 / 松田 佐知子 / 足立 美保 / 鶴 路花 / 松本 孝枝 / 深江 博子 / 幸地 みつき / 吉田 美可 / 木村 牧子 / 熊本 馨 / 木村 晴美 / 川西 由香 / 井口 陽子 / 崎久保 摩紀 / 宮寺 尚子 / 小牧 敦子 / 中西 香織 / 中村 奈央 / 野村 聡子 / 金子 めぐみ / 工藤 珠美 / 平山 和香枝 / 鈴木 茜 / 中村 小津江 / 元淵 円香 / 山本 明子 / 山崎 富美江 / 正 春視 / 加藤 佐江子 / 中野 真琴 / 山本 ひとみ / 伊藤 美香 / 溝呂木 まり / 井上 喜美子 / 金子 法子 / 佐藤 真由美 / 富田 理恵 / 谷田部 恭代 / 萩野 智美 / 位田 多津子 / 白岩 暖美 / 長田 友香 / 上平 公子 / 野坂 満智子 / 野坂 里絵 / 小野 理子 / 堀添 由美子 / 修行 めぐみ / 大槻 直美 / 渡瀬 智代 / 島谷 三幸 / 谷脇 文子 / 飯田 京美 / 藤原 有美子 / 横山 幸恵 / 木内 丘伺子 / 深沢 千恵子 / 川島 由子 / 岩佐 雅代 / 若松 やよい / 川合 暁美 / 石井 美香 / 重竹 珠生 / 山野辺 佐和子 / 瀧林 信江 / 菅原 由美子 / 稲田 実和子 (敬称略)

### まみい〜の日記 Vol.9

## わたしにとってのチャイルドケア

チャイルドケアの意味や必要性を感じる中、子育て経験のないわたしは逆に皆さんから教わることも多く、子育てに向き合っているお母さんは本当に強いな〜と感心します。同じ思いが結集することで新たな展開が生まれたり、前進を続けることで次につながったという喜びのお声はとても嬉しく思います。これからも皆さんの気持ちをしっかりサポートできるよう啓蒙を続けていきたいと思っています。そして、いつでも皆さんのチャイルドケアを届けてほしいと思っています。“誰に対してもどんなものに対しても思いやりの心で暮らせる人々が、日本中にどんどん広がっていく”というイメージを持ち続けることが、わたしのチャイルドケアだと思っています。



ピーカーブーの誌面にご登場され、特にご協力いただいた方には、感謝の気持ちを込めてプレゼントを贈呈させていただきます。

日本アロマコーディネーター協会

## チャイルドケア本部 (MC事務局)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-15-15 原宿佐野ビル2F  
 TEL . 03-5413-1260 FAX . 03-5413-7080

E-mail: info@childcare-jp.com

HP: http://www.jaa-aroma.or.jp/child

マザーズクラブ会員専用ページのご利用には、IDとパスワードの入力が必要です。

ID / ccbukai パスワード / mckaiin